

## 人として自立し、社会で生きていくために必要な感性を磨く。

社会や文化を理解するための基盤となる「国語」を学び、自己表現を豊かにする言語能力を伸ばします。自らの言語によって表現できる実践的な言語運用能力を身に付け、「国語」の授業力を養います。教科としての「国語」を担うための教材研究能力・教材開発力を養います。

詳細はコチラ



### 〔 4年間の学び 〕

国語・書道専修での学びは、国語教育学・国語学・国文学・漢文学・書道書の各部門から成る学習領域の、全5領域で構成されています。1、2年次は、諸領域への入門となる科目をはじめ、基盤となる教養科目、また、高等学校の教員になるために必要な専門科目を履修します。学年を追うごとに、高等学校の教員になるためのより高度な科目を履修するとともに、上記5領域の基礎的な科目から発展的な科目へと学習を進めます。発展的な科目については、2年次以降、各領域への関心に応じて、自らの専門性を高めるためにふさわしい科目を選んで履修します。また、2年次後半からは、研究すべきテーマをもって各領域の研究室に所属し、体系的な学習と並行して自らの研究を深めつつ、4年次には集大成としての卒業論文をまとめます。

### 取得できる免許

【卒業要件に含める免許状】  
高等学校教諭一種免許状（国語）

【取得を優先して薦める免許状】  
中学校教諭一種免許状（国語）  
高等学校教諭一種免許状（書道）  
◎特別支援学校教諭二種免許状

【所定の科目履修で取得可能とする免許状】  
◎高等学校教諭一種免許状（情報）  
※書道を選択しなかった場合

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。



## 先輩 Voice

学校教員養成課程 高等学校教育専攻 国語・書道専修 4年  
愛知県立西尾高等学校出身



### 国語・書道の専門性と 言葉の変化を探究する学びで 生徒一人ひとりに寄り添う授業を目指して

国語教育学・国語学・国文学・漢文学・書道について、基礎から高等学校教員に必要な専門的かつ実践的な学習ができるのが魅力です。国語学・日本語学における時間的変異に興味があり、現在使用している語や表現がどのように変化してきたのか、先行研究を踏まえながら使用傾向を調査・分析しています。普段使っている言葉の法則性や意味、特徴を理解し、自分の言葉で説明できるように取り組んでいます。ゼミの先生は学生の意見を尊重し、相談や質疑応答の時間を設けながら研究テーマがより高次のものになるように丁寧に指導して下さるため、安心して研究に取り組むことができます。

### ■ 私の時間割（2年生後期）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限			学校体験活動Ⅰ	中等国語科教育法CⅠ	学校教育におけるICT活用
2時限			学校体験活動Ⅰ	書道演習B	
3時限	国文学講義AⅡ		この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	書道演習ⅢⅢ	漢文学B
4時限	国文学講義AⅠ	道德教育の理論と方法		国文学演習BⅠ	国語学演習AⅠ
5時限	キャリアデザインⅡ			国語学講義BⅡ	

\*上記時間割で示した授業科目以外に2年次前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。